

||||| 公共・公益事業分野 |||||

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
東部生活用水開発計画 (フェーズIII)	ルワンダ東部キブンゴ県における地下水を主な対象とした生活用水開発計画を策定するものである。 1989年度は88年度に締結した実施細則に基づき本格調査を開始し、業務進捗状況報告書(1)を提出した。	公共事業・エネルギー省	(株)パシフィックコンサルタンツ・インターナショナル 梶谷エンジニア(株)

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
東部生活用水開発計画 (フェーズII)	公共事業・エネルギー省水道局	日本国際協力システム				(資)	

ルワンダの上水道の普及は、都市部のみに限定されており、人口の95%が地表水、泉水に依存している。しかし近年、地表水の汚染が著しく、公衆衛生上の問題が生じるとともに、過大な取水労務を強いられている。地下水開発のための井戸掘削用機材調達資金の供与計画。



||||| 農林水産分野 |||||

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農林畜産省	日本国際協力システム	89	3.00	90.3.3	(資)	

食糧自給を維持するため80万 ha を対象に農業資機材を調達する資金の供与計画。

■ サントメ・プリンシペ

分野 形態	合計人数		計画・行政 開発計画	行政	公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光 商業貿易	観光	人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
	新規	継続			公益事業	運輸交通	社会基盤	通信放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業				人的資源	科学・文化				
研修員受入	4			1																			
	1								1														
合計	5			1					4													10,132	
短期	新規																						
	継続																						
長期	新規																						
	継続																						
合計	1																						
専門家派遣	新規																						
	継続																						
合計	1																						
調査団派遣	新規																						
	継続																						
合計	1																					13,996	
協力隊派遣	新規																						
	継続																						
合計																							

■ セネガル

分野	形態	合計人数	計画・行政			公共・公益事業			農林・水産				就工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
			行政	行政	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業		工業	商業・貿易	観光	人的資源				
研修員受入	新規	20		1	1	2	1	4		3	1				4	1							
	継続	6					1									5							
	計	26		1	1	2	1	5	3	1					9	1							79,784
専門家派遣	新規	6														6							
	継続																						
	計	6														6							
	新規	2									1					1							
	継続	10							1	1						6							
	計	12							1	2						7							
調査団派遣	新規	8														1							
	継続	10								1	1					6							
	計	18								1	2					13							222,363
協力隊派遣	新規	73		3	21	11	15		10	4						4							
	継続	14			12		2																
	計	87		3	33	11	17		10	4						4							695,963
協力隊派遣	新規	23		1			8		2	1	1					1							
	継続	52		3	2		21		2	1	4					3							
	計	75		3	3		29		4	2	5					4							258,912

||||| 公共・公益事業分野 |||||

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
西部地域地形図作成調査	セネガル西部地域（2万5000km ² ）を対象とした縮尺5万分の1の国土基本図を作成するもので、1988年度から本格調査が開始され、89年度は図化・編集の一部を完了した。	国立地理局	(株)国際建設技術協会 国際航業(株)

無償資金協力事業（JICA 担当分）

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
地方水道整備計画（第7次）	水利省地方水利局	日本テクノ				90.2（本）	

計画対象地区A（15カ所）において、水道施設を建設するのに必要な資金の供与する計画。

北部地域通信網整備計画	通信省	JTEC				89.11（本） 90.4（報）	
-------------	-----	------	--	--	--	---------------------	--

強度フェージングによる障害を受けているマイクロ波中継回線を光ファイバーケーブルにかえるために必要な資金供与計画。

||||| 農林水産分野 |||||

機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
車両整備用機材	一式	18,334	自然保護省森林局	一般単独機材	専門家派遣 青年海外協力隊

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
農業実証調査	セネガル北部サンレイ地域チャゴ・ギエール地区における農業実証において稲作及び畑作並びに圃場整備水準に関する農業実証調査を実施し、今後の西アフリカセネガル川流域の開発戦略に必要な情報・資料及びデータの収集・検証を行うとともに、実証試験を通じ農民に対する栽培技術のデモンストレーション及び技術移転を行うものであり、1989年度は、第4年次の栽培試験、灌漑水管理試験、普及活動技術評価、防災農法試験等を実施した。	計画協力省	太陽コンサルタンツ(株) 中央開発(株) 日本技研(株) 北海道コンサルタンツ(株)

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額(億円)	E/N署名日	JICA実施業務	
						基本設計・資機材等調査	実施促進・フォローアップ
食糧増産援助 (穀物増産計画)	植物保護庁	日本国際協力システム	89	5.0	90.3.13	(資)	90.4 (契)

西暦2000年まで食糧自給率を80%まで高める一助として病虫害防除用の農薬を調達する資金の供与。

ダカール市中央魚市場建設計画	地域開発省 動物資源庁	マツダ・コンサルタンツ	89	12.05	89.11.29	89.6 (報)	
----------------	----------------	-------------	----	-------	----------	----------	--

セネガルの首都ダカール市民に魚を提供しているグエルタペ市場は、設備が整わず、不衛生かつ手狭な環境にある。新鮮かつ衛生的な魚の提供をめざす同市場の建設に必要な資金を供与する計画。

苗畑整備計画	自然保護省	中央開発				89.11 (本) 90.4 (報)	
--------	-------	------	--	--	--	-----------------------	--

セネガルの植林計画を推進するため、15カ所の苗畑施設等を整備するのに必要な資金を供与する計画。

食糧増産援助	セネガル農村開発省 ニジェール農業・環境省					89.11 (報)	
--------	--------------------------	--	--	--	--	-----------	--

セネガル、ニジェールを対象にこれまでの援助をレビューするとともに、当面の援助方針策定に資する調査。

人的資源分野

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績						
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパート 受入 (人)	機材供与(千円) (携行機材除く)			
職業訓練センター (当初 R/D 協力期間) 84. 2. 4 ~ 89. 2. 3 (延長 R/D 協力期間) 89. 2. 4 ~ 91. 3. 31	81	事前調査	88年度までの 累 計	23	29	175,580			
	83	実施協議							
	84	計画打合せ	89年度	新規	11	3			
	85	巡回指導							
	86	巡回指導							
	87	計画打合せ							
	88	エバリュエーション					継続	6	4
	88	実施設計							
	89	計画打合せ							
						34,977			

<要請の背景>

セネガル政府は、第6次経済開発計画(1981~85)に基づき、農業中心の経済からの脱出、軽工業産業振興の経済開発政策を推進、これに沿っての技術教育の充実を図るため電子・電気・機械分野の職業訓練センターの設立を計画し、これへの技術協力をわが国に要請してきた。

<目的・内容>

電子分野は家庭用電子機器修理コースと自動制御コース、電気分野は電気コースのみ、機械分野は機械修理コースとエンジン修理コースの3分野5コースを設定し、16~21歳の中卒者を対象に年間50名3年間の訓練で多能工の養成をめざす。

<現状・目標達成>

1984年10月に開校し、電子・機械分野4コースの訓練が開始された。また電気コースは、85年10月に開設され、87年7月に第1回生が卒業した。

保健医療分野

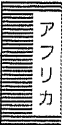
無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
カオラック病院改修計画	保健省	梓設計	89	8.56	89.7.3	89.6 (報)	

老化化及び医療機材不足が深刻なカオラック病院の改修及び機材整備を行い、同病院がカバーする地域の保健医療レベルの向上を図るため、改修及び機材調達に必要な資金を供与する計画。

■ セイシェル

分野	形態	合計人数	計画・行政			公共・公益事業				農林・水産				工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
			開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業	観光	商業貿易	観光	人的資源	科学・文化					
研修員受入	新規	6	1																	2			27,096	
	継続	2										1												
	計	8	1									1								2				
専門家派遣	新規																						16,274	
	短期																							
	長期	1																						
	計	1																						
	新規																							
	継続	1																						
調査団派遣	新規																						17,258	
	継続	8																						
	計	8																						
協力隊派遣	新規																							
	継続																							
	計																							



||||| 農林水産分野 |||||

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
漁港改修計画	農業・漁業省	パシフィック コンサルタン ツ・インター ナショナル				90.1 (本)	

カツオ、マグロ資源を中心とした漁業開発を図るため、ヴィクトリア港内の漁港岸壁の補修、新岸壁の拡張、関連施設の整備に必要な資金の供与を行う計画。

シエラ・レオネ

分野	形態	合計人数	計画・行政		公共・公益事業			農林・水産				鉱工業		エネルギー		商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
			開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱工業	工業	エネルギー	商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員受入	新規	15	4		2	1	2	2				1	1							2			
	継続	2					1													1			
	計	17	4		2	1	2	3				1	1						3			38,874	
専門家派遣	新規																						
	短期	3			3																		
	計	3			3																		
	新規																						
	長期																						
	計																						
調査団派遣	新規																						
	継続	3			3																		
	計	3			3																	10,840	
協力隊派遣	新規	6																					
	継続																						
	計	6																					24,802
	新規																						
	継続																						
	計																						

||||| 公共・公益事業分野 |||||

無償資金協力事業（JICA 担当分）

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
道路建設機材整備計画	公共事業労働 省		89	3.77	89.6.23		89.8（契）

シエラ・レオーネの運輸・交通はそのほとんどを道路に依存しているが、増大する交通量、雨期における多量の雨等の自然条件により、道路事情は悪化している。このような状況を改善するため、道路建設機材を調達するのに必要な資金の供与。

||||| エネルギー分野 |||||

無償資金協力事業（JICA 担当分）

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
フリータウン電力供給改善 計画	エネルギー動 力省国家動力 庁	八千代エンジ ニアリング				89.11（本）	

首都フリータウンのキングトム発電所には9機のディーゼル発電が設置されているが、老朽化により稼働不能となっている1台を更新するのに必要な資金を供与する計画。

ソマリア

分野 形態	合計人数		計画・行政		公共・公益事業			農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
	新	継	開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化			
研修員受入	規	8		1				2				3								2		
	統	2									2											
	計	10		1				2			5									2		23,992
専門家派遣	新規													1								
	継続														1							
	計	1												1								
調査員派遣	新規													1								
	継続																					
	計	1												1								13,927
協力隊派遣	新規																					
	継続																					
計																						

アフリカ

||||| 農林水産分野 |||||

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助 (農作物増産計画)	農業省土地・ 水利用局 農業機械農業 サービス公団	日本国際協力 システム	89	3.50	90.3.14	(資)	

耕作地の拡大、生産性の向上を通じて、食糧増産を図るために必要な物資の調達資金の供与計画。

||||| 農林水産分野 |||||

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業協同組合 省	日本国際協力 システム	89	1.50	90.2.4	(資)	90.2 (契)

土壌の改良を促進し単位収量を向上させることにより食糧自給率を高めるために必要な物資調達資金の供与。

■ タンザニア

分野 形態	合計人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
		行政	開発計画	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化				
研修員受入	新規	2	5	2	14	5	8	18	1	4	2	18	3	2	1	1	6					
	継続		1		3			5		1	1	3				1						
	計	2	6	2	17	5	8	23	1	5	3	21	3	2	1	2	7				271,506	
専門家派遣	新規	4	1					1				1					1					
	継続																					
	計	4	1					1				1										
	新規	7			1			3			1	1										
	継続	26			3		1	10		2	2	7										
	計	33			4		1	13		2	3	8										
合計	新規	11	1		1		4			1	2											
	継続	26			3		10		2	2	7											
	計	37	1		4		14		2	3	9										486,525	
調査団派遣	新規	97		20	22		5	21		4			19								6	
	継続	5			5																	
	計	102		20	27		5	21		4			19								6	
協力隊派遣	新規	30	1			4	1	4	3	1	10							1	2	3		
	継続	67	3			15	3	10	4	6	19							1	1	3	1	
	計	97	4			19	4	14	7	7	29							1	3	6	1	



||||| 公共・公益事業分野 |||||

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ダルエスサラーム都市圏道路整備計画	タンザニア最大の都市であるダルエスサラーム市都市圏内の主要道路を対象とした道路整備計画に係るフィージビリティ調査を行うもので、1989年度は中間報告書の提出、最終報告書案の提出を行った。	ダルエスサラーム市庁	日本技術開発(株) 日本工営(株)
ダルエスサラーム市給水施設整備計画	ダルエスサラーム市の給水施設の総合的なリハビリテーション計画の策定を行うものである。 1989年度は事前調査を実施し、実施細則を締結するとともに本格調査を開始し、業務進捗状況報告書(1)を提出した。	全国都市給水公社	(株)東京設計事務所 (株)パシフィックコンサルタンツ・インターナショナル

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額(億円)	E/N署名日	JICA実施業務	
						基本設計・資機材等調査	実施促進・フォローアップ
ダレサラーム市内電話網改修計画	通信公共事業省 タンザニア郵電公社	日本通信協力	89	6.10	89.9.8	89.4 (報)	

5年間にわたり実施されてきたプロジェクト方式技術協力の成果を踏まえ、第2期技術協力を実施するのに必要な施設・設備を建設整備するための資金の供与計画。

||||| 農林水産分野 |||||

機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
農業開発用機材	一式	48,501	コースト州地域開発局	一般単独機材	専門家派遣 研修員受入

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績				
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパート 受入 (人)	機材供与(千円) (搬行機材除く)	
キリマンジャロ農業開発計画 (当初 R/D 協力期間) 86.3.13~91.3.12	85	実施協議	88年度までの 累 計	19	9	164,172	
	86	計画打合せ					
	87	巡回指導	89年度	新規	6	5	18,104
	89	巡回指導		継続	8	2	

<要請の背景>

タンザニア政府は、キリマンジャロ州総合開発計画の一環として「キリマンジャロ農業開発センター計画(KADC)」に対する技術援助をわが国に対して要請し、1978年より7年半にわたり協力が実施された。タンザニア政府は、KADCプロジェクトの実績を評価するとともに、すでに着手されている「ローアモシ農業開発プロジェクト」(2300ha)に対する栽培技術の確立・普及、水管理の指導等、またキリマンジャロ州の各種農業開発に対する助言・指導が不可欠であるとして、KADCの第2フェーズとして新規プロジェクトを要請してきた。

<目的・内容>

当該プロジェクトはKADCの成果をもとに農業技術の確立及びカウンターパート、普及員、農民等の研修を通じて技術の普及を図り、キリマンジャロ州の農業開発の推進に寄与することを目的として、下記の協力を行う。

- 1) ローアモシ地区を中心としたキリマンジャロ州
 - a. 稲作適正品種の選定、栽培技術の確立、展示及び普及訓練
 - b. 畑作(野菜・大豆等)栽培技術の確立、展示及び普及訓練
 - c. 水管理技術の確立及び普及訓練、水利施設の維持・管理に対する助言
 - d. 農業機械の現地適正試験及び操作、維持管理の指導・訓練
- 2) キリマンジャロ州
キリマンジャロ州の農業開発に関する助言、指導

<現状・目標達成>

- 1) 1987年5月にローアモシプロジェクトは完成し、現在3期作により約1500haの作付を実施中である。
- 2) 新規開田圃場の実態把握のため、減水深調査が行われている。
- 3) 水管理ローテーションワークのため、『水管理カレンダー』を作成した。
- 4) 耐低温性品種選定のための水稲試験を実施している。
- 5) 大豆食品の導入を図るための普及キャンペーンを実施している。



開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ハイ・ロンボ農業開発計画	キリマンジャロ州のハイ地区及びロンボ地区低地部約400km ² 内の開発ポテンシャルの高い地域において、地下水の開発及び利用を含む灌漑農業開発計画策定のためのフィービリティ調査を実施するものであり、1989年度は、第2次現地調査を実施し、90年3月にプログレスレポート（II）を作成した。	キリマンジャロ地域開発庁	日本工営㈱ 国際航業㈱

無償資金協力事業（JICA 担当分）

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業省 肥料公社	日本国際協力 システム	89	5.92	90.3.22	(資)	

同国穀倉地帯に位置する諸州へ、食糧増産を図るため肥料、農薬、農機を調達するのに必要な資金を供与する計画。

||||| 鉱工業分野 |||||

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績				
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパート 受入 (人)	機材供与(千円) (携行機材除く)	
キリマンジャロ州中小工業開 発 (II) (当初 R/D 協力期間) 88. 3. 13~93. 3. 12	87	事前調査	88年度までの 累 計	7	1	6,863	
	87	実施協議					
	88	計画打合せ	89年度	新規	2	0	46,069
				継続	7	3	

<要請の背景>

1968年9月キリマンジャロ州の総合開発についてわが国に協力要請があり、以来10年間を経て78年9月13日から協力が開始され、88年3月12日まで KIDC (I) として協力が続けられた。

タンザニア政府から KIDC (I) の実績をもとに、同プロジェクトを維持発展させるため①窯業研究開発センター、②修理・保守管理センター、③手工芸センターの3センター設立について、わが国にプロジェクト方式技術協力及び無償資金協力の要請があった(1987年4月2日付 外務公信 204号)。

同要請を受け、事前調査(1987年7月)の実施、機械・金属加工及び窯業の分野について協力を維持することの妥当性が確認され、実施協議調査団を派遣し、両国側の協議を経て、1988年2月 KIDC (II) の R/D が締結された。

<目的・内容>

KIDC (I) の協力実績を発展・拡充させるため、下記の活動を通じ、工場経営を含む応用技術の移転を図り、タンザニア側による KIDC の自立運営をめざし、それによりキリマンジャロ州の中小企業開発に寄与することを目的とする。

- 1) 機械、金属加工部門
 - ①機械加工、鋳造、鍛造の分野における応用技術の OJT
 - ②生産管理、製品企画及び設計に関する技術指導
- 2) 窯業部門
 - ①生産管理を含む窯業生産に関する OJT
 - ②食器、硝子、石膏の生産に関する技術指導

<現状・目標達成>

KIDC (I) の協力期間(1978. 9. 13~88. 3. 12)を通じ、機械加工、鋳造、鍛造、窯業及びブリケット(おが炭)製造の分野において基礎的な技術の移転は終了した。(II)においては機械、金属加工(鋳・鍛造)及び窯業の分野において工場経営を含む応用技術を移転し、タンザニア側による自立運営をめざしている。



||||| エネルギー分野 |||||

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
キハンシ水力発電開発計画調査	タンザニア南西部キハンシ川流域の水力発電開発のためのフィージビリティ調査を実施するものである。 1989年度は、測量、地質及び水文等の現地調査を行い、プログレスレポート及び中間報告書を作成した。	国营電力公社 (TANESCO)	電源開発(株)

||||| 保健医療分野 |||||

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額(億円)	E/N署名日	JICA実施業務	
						基本設計・資機材等調査	実施促進・フォローアップ
マラリア抑制計画	保健省	アイテック	88	4.11	88.8.17		90.2 (状)

都市マラリアに対し、蚊の駆除によるマラリア抑制を計画、これに必要な殺虫剤等の調達資金の供与。

||||| その他分野 |||||

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
フォローアップ調査 (タンザニア)	タンザニアにおいてこれまで実施した開発調査案件 (9件) を対象とする調査終了以降の進展状況に係る追跡調査等を実施した。	計画委員会	(財)国際協力センター

アフリカ

分野	形態	合計人数		計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)	
		新	継	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱工業	工業	エネルギー	商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化	保健医療	社会福祉	その他			
研修員受入	新	7			1						1										2				
	継		1																		1				
	計	8			1						1										3				8,522
専門家派遣	新	1									1														
	継																								
	計	1									1														
調査員派遣	新	1																							
	継																								
	計	1																							1,726
協力隊派遣	新	6			6																				
	継																								
	計	6			6																				22,435

アフリカ

||||| 公共・公益事業分野 |||||

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
カラ地区地下水開発計画	設備・鉱山・ 郵政省水理局	三祐コンサル タンツ				90.1 (本)	

トーゴーのカラ州東部のゴザ及びピナの2県を対象に、農村生活基盤向上を目的として、手押しポンプ付きボアホールを建設するのに必要な資金の供与計画。

||||| 農林水産分野 |||||

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農村開発省	日本国際協力 システム	89	1.50	89.11.20	(資)	90.1 (契)

農村での食糧生産量を増加させるため肥料、農薬の使用の普及を図る。これに必要な資金の供与。

農業水利機材整備計画	農村整備省 農業土木局	日本国際協力 システム				(資)	
------------	----------------	----------------	--	--	--	-----	--

トーゴー政府は農村部住民に生活用水、家畜飲料水、農業用水を供給するための水資源開発、農地開発を進めている。しかし、同事業を担当する農村整備省農業土木局の現有機材は不足し、上記関連各種プロジェクトの遂行に支障を来している。このため、当面の計画である溜池改修、小規模灌漑農業開発に必要な機材を調達するための資金を供与する計画。

■ ウガンダ

分野	形態	合計人数	計画・行政		公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
			行政	開発計画	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		観光	商業・貿易	観光	人的資源				
研修員受入	新規	13				2								4						3	1		18,728
	継続																						
	計	13				2								4						3	1		
専門家派遣	新規																						
	継続																						
	計																						
調査団派遣	新規	13																					40,775
	継続																						
	計	13																					
協力隊派遣	新規																						
	継続																						
	計																						

アフリカ

||||| 公共・公益事業分野 |||||

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
道路整備計画	地方自治省	日本国際協力 システム	89	3.26	89.7.4		89.10 (契)

首都カンパラ他7都市を対象とした全長250kmの主に市街道路建設用機材の調達資金の供与。

||||| 農林水産分野 |||||

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
食糧増産援助	農業省	日本国際協力 システム	89	4.0	90.3.16	(資)	

食糧自給を目的に農業生産性向上のために必要な資機材を調達するための資金の供与計画。

||||| 人的資源分野 |||||

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
マケレレ大学理学部拡充計 画	教育省	創造社				89.7 (本) 89.10 (報)	

高等教育に対する国民のニーズを満たすために、施設・機材が不足しているマケレレ大学理学部に対し、施設を拡充し、必要機材を調達する資金を供与する計画。

■ ガイール

分野	形態	合計人数	計画・行政			公共・公益事業			農林・水産				鉱工業		エネルギー		商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)	
			開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱工業	工業	商業・貿易	観光	人的資源	科学・文化							
専門家派遣	研修員受入	20			2	5	1	1	1	1	1	1	1	2					5	1					
	新規																								
	継続	5				1													1	2					
	計	25			2	6	1	1	1	1	1	2	1	2					6	3				79,391	
	新規	9				8															1				
	短期				1																				
	継続	4																							
	計	13			1	8																			
	新規	1																							
	長期				1																				
	計	4			1																				
	新規	10																							
継続	7			2																					
計	17			2	8																			71,866	
調査団派遣	新規	56			14	29																			
	継続	1				1																			
	計	57			14	30																		220,203	
協力隊派遣	新規																								
	継続																								
計																									

||||| 公共・公益事業分野 |||||

機材供与事業

案 件 名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供 与 先	供与形態	関 連 事 業
上水道整備訓練用機材	一式	27,862	鉱山エネルギー省上 下水道公社	一般単独機材	専門家派遣 研修員受入

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調 査 業 務 受注企業名
キンシャサ市内東西幹線 道路建設計画	キンシャサ市内の13kmの東西幹線道路及びそ れに対するアクセス道路の建設・補修計画に係る フィージビリティ調査を行うもので、1989年度は 88年度に引き続き本格調査を実施し、最終報告書 を提出した。	都市整備調査 局	三井共同建設 コンサルタント(株)

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相 手 国 実施機関	調 査 業 務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
キンシャサ市内電話網整備 計画	郵政省	日本通信協力				90.3 (本)	

キンシャサ市内の電話網の更改並びに中継線の新設に必要な資金の供与計画。

キンシャサ市飲料水供給計 画	水道公社	協和コンサル タンツ				89.11 (本) 90.3 (報)	
-------------------	------	---------------	--	--	--	-----------------------	--

キンシャサ市の東部地域の住民に良質な飲料水を供給することを目的に、同市ンジリ地区に新規浄水場を
建設するための資金の供与計画。

||||| 農林水産分野 |||||

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
中部シャバ州農業開発計画	ザイール道路 公園		88	7.75	89.4.21		89.11 (契)

アメリカがマスタープランを実施した中部シャバ州農業開発計画の一環として、農業道路建設用機材を中心にその他農業機械・肥料・農薬の調達資金の供与。

食糧増産援助 (肥料全国普及計画)	農業省農業開 発機関	日本国際協力 システム	89	7.00	90.3.29	(資)	
----------------------	---------------	----------------	----	------	---------	-----	--

肥料、農薬及び関係技術の合理的利用により、食糧生産増大を図る目的で、肥料、農薬を調達するための資金の供与計画。



■ ザンビア

分野	形態	合計人数	計画・行政			公共・公益事業			農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)	
			開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業		商業貿易	観光	人的資源	科学・文化					
研修員受入	新規	48	2	2	2	1	1	6	6	1	1	6	1	6		9		11						
	継続	4														3		1						
	計	52	2	2	2	1	1	6	6	1	1	6	1	6		12		12					134,009	
専門家派遣	新規	12						6								6								
	継続	2						1								1								
	計	14						7								7								
	新規	15	1	1	1			1	5					1	1	3					3			
	継続	24						1	3	9						5								
	計	39	1	1	1			1	4	14					7	8					3			
調査団派遣	新規	27	1	1	1			1	11					1	1	9					3			
	継続	26						1	3	10						6								
	計	53	1	1	1			1	4	21					7	15					3			610,184
協力隊派遣	新規	65				21	7	13	5					7							1	7	4	
	継続	2						2																
	計	67				21	7	15	5					7							1	7	4	
協力隊派遣	新規	40		1			3	1	4	1	1	1	7								10	3	9	
	継続	77		5	2		4	3	7	11	2	2	12								11	3	14	1
	計	117		6	2		7	3	8	15	3	3	19								21	6	23	1

公共・公益事業分野

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
主要河川水資源開発計画	ザンビアの主要河川流域（ザンベジ川、カフェ川）における水文観測体制を整備し、将来の水資源計画に資するため、基礎的な水文データを収集整備解析する長期調査を実施するものであり、1989年度は88年度に締結した実施細則に基づき本格調査を開始し、業務進捗状況報告書を提出した。	農業水資源省	八千代エンジニアリング(株)
カフェ川道路橋改築計画	ルサカ市南方約50kmの国際幹線道路上に位置するカフェ川道路橋の現橋（橋長約130m）の改築計画に係るフィージビリティ調査を行うもので、1989年度は88年度に締結した実施細則に基づき本格調査を開始し、中間報告書を作成した。	公共事業省道路局	(株)長大



農林水産分野

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期間	各種チームの派遣		人数・経費実績				
	年度	形態		専門家派遣 (人)	カウンターパート受入 (人)	機材供与(千円) (携行機材除く)	
ザンビア大学獣医学部技術協力計画 (当初 R/D 協力期間) 85. 1. 22~90. 1. 21 (延長 R/D 協力期間) 90. 1. 22~92. 7. 21	84	事前調査	88年度までの 累計	37	6	282,988	
	84	実施協議					
	85	計画打合せ	89年度	11	4	89,677	
	86	巡回指導					新規
	87	巡回指導					継続
	88	巡回指導					
89	エバリュエーション	10	0				

<要請の背景>

ザンビアは200万頭以上の牛を保有する牧畜国であるが、家畜疾病等のため生産性が低く、畜産物を輸入している現状である。かつ、獣医師の数が極端に少なく(約70名)家畜衛生対策が遅れている。この状況を打開するため、ザンビア大学に獣医学部を新設し、獣医師の養成を図ることとした。この計画について、わが国に無償資金協力及び技術協力を要請してきた(一方、近隣地域ではECによりジンバブエ大学獣医学部への協力が進められている)。

<目的・内容>

国際的に認められる水準の獣医教育を実施し、ザンビア人獣医師を養成するため、基礎獣医学講座(家畜病理学、寄生虫学、微生物学)及び家畜疾病予防学講座を中心に、教育・研究及び普及の面で協力する。

<現状・目標達成>

1988年11月には第1期生13名が、89年11月には2期生15名が卒業し、一連の獣医学教育制度の基礎が確立されたと考えられる。大学内では、同学部のカリキュラム、指導体制及び施設・機材の充実度が高く評価されている。研究・普及活動も徐々にではあるが活動が活発になりつつある。

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
農業実証調査	西部州モング地区のザンベジ川氾濫原及び丘陵部凹地(ダンボ)において稲作適正技術の検討及び栽培、土壌、灌漑、排水等の分野に関するデータの蓄積のための農業実証調査を実施し、今後の同地域の開発戦略に役立てるとともに、実証試験を通じ農民に対する栽培技術のデモンストレーション及び技術移転を行うものであり、1989年度は第1年次の圃場の設計・整備実証試験、気象・水文観測、栽培法の検討等を実施した。	農業及び協同組合省	太陽コンサルタンツ(株) 国際航業(株)

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国実施機関	調査業務受注企業名	供与年度	金額(億円)	E/N署名日	JICA実施業務	
						基本設計・資機材等調査	実施促進・フォローアップ
食糧増産援助(メイズ自給計画)	協同組合省	日本国際協力システム	89	12.00	89.11.22	(資)	90.2 (契)

食糧の自給を図るため、ザンビアでは生産していない肥料を調達するための資金の供与。

地方農道補修計画	電力・運輸・通信省道路局	日本国際協力システム	89	9.90	89.12.22	(資)	90.2 (契)
----------	--------------	------------	----	------	----------	-----	----------

ザンビアの経済は、その多くを銅産業に依存しているが、近年の銅価格の低迷により貿易収支は悪化している。このため、同国政府は銅依存の経済構造から脱却し、農業開発に重点を置いた諸施策を推し進めている。しかし、同国の道路整備状況は劣悪であり、雨期明けには数百カ所に通行不能地点が発生し、メイズの運搬をはじめとする農業資材運搬に多大な支障を来している。このため、地方道路の路面改修のための機材調達資金の供与。

||||| 鉱工業分野 |||||

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
カプエウエスト地域開発計画調査	カプエウエスト地域において、鉛・亜鉛・硫化鉱床の賦存状況を把握することを目的とする。 1989年度は、ボーリング調査（12孔，2400m）を実施した。	ザンビア鉱山公社	金属鉱業事業団

||||| 人的資源分野 |||||

機材供与事業

案件名	数量	経費(千円) (支出済み額)	供与先	供与形態	関連事業
家庭燃料開発研究用機材	一式	29,240	高等教育省国立科学技術研究所	一般単独機材	専門家派遣 研修員受入 青年海外協力隊
教育視聴覚機材	一式	4,541	普通教育・文化省	小規模単独機材	青年海外協力隊

ア
フ
リ
カ

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態	人 数		カウ ンター パート 受入 (人)	機材供与(千円) (携行機材除く)
職業訓練拡充計画 (当初 R/D 協力期間) 87. 10. 1 ~ 92. 9. 30	86	基礎調査	88年度までの 累 計		14	4
	86	事前調査				
	87	実施協議				
	87	計画打合せ	89年度	新規	9	6
	88	巡回指導		継続	6	3
	89	計画打合せ				
						30,624

〈要請の背景〉

1985年10月、安倍外務大臣（当時）より、南部アフリカ情勢の政治的安定に資するとの観点から、南アフリカ諸国における人造り協力を積極的に推進する旨の発言がなされた。係る経緯から、86年6月、ザンビアを対象に職業訓練分野での協力を実施し、将来的には、同国を拠点とした第三国研修の実施を通じ、南部アフリカ諸国への技術協力実施の可能性を調査・検討する目的で基礎調査団をザンビアに派遣した。

その結果、ザンビア高等教育大臣ら関係者より、同国における職業訓練分野での協力を強く要請するとともに、実施妥当性が確認された。

〈目的・内容〉

ザンビア政府は、同国経済の過度の銅産業への依存体制からの脱却を図るために、国家開発計画において工業・サービス業部門の拡充を重点項目にあげている。そのため、本プロジェクトでは、国内の職業訓練校の教育内容の向上を図ることを目的とする。

〈現状・目標達成〉

調整員、冷凍空調専門家は1987年10月、工業電子専門家を12月に派遣し、リーダーを88年2月、視聴覚教材開発専門家を88年4月に派遣。さらに工業電子、自動車整備専門家を89年4月に派遣した。

||||| 保健医療分野 |||||

プロジェクト方式技術協力事業

プロジェクト名 期 間	各種チームの派遣		人 数 ・ 経 費 実 績			
	年度	形 態		専門家派遣 (人)	カウンターパート受入 (人)	機材供与(千円) (携行機材除く)
ザンビア感染症 (当初 R/D 協力期間) 89. 4. 1 ~ 94. 3. 31	88	事前調査	88年度までの 累 計			27,444
	88	実施協議				
	89	実施設計	89年度	新規 10	3	
	89	機材修理				

〈要請の背景〉

1980年2月より9年間継続したザンビア大学医学部プロジェクト（新生児管理、小児外科分野を中心に協力）が、89年2月に協力期間が終了したところ、ザンビア政府は同国において対策の立ち遅れている感染症分野に焦点を当てた新プロジェクトの実施につき要請してきた。

〈目的・内容〉

ザンビア大学医学部及び大学病院の人材養成を通じて、感染症対策の確立・強化を図る。

- 1) ラボラトリーにおける感染症診断（特に経口）方法の確立
- 2) 上記診断によるザンビア人の感染症患者の病理分析
- 3) 病理分析に基づく感染症治療の標準化

〈現状〉

感染症の診断方法・病理分析が確立されていないため、感染症対策が十分になされていない。

■ ジンバブエ

分野	形態	合計人数	計画・行政				公共・公益事業				農林・水産				鉱工業		エネルギー	商業・観光		人的資源		保健医療	社会福祉	その他	経費 (千円)
			開発計画	行政	公益事業	運輸交通	社会基盤	通信・放送	農業	畜産	林業	水産	鉱業	工業	観光	商業・貿易		観光	人的資源	科学・文化					
専門家派遣	研修員受入	17	1	1	2	1	5	1						1							4	1		22,790	
	新規																								
	継続																								
	計	17	1	1	2	1	5	1						1							4	1			
	短期																								
	長期																								
	計																								
	合計																								
	新規																								
	継続																								
計																									
調査員派遣		38			2		5																	9,065	
新規																									
継続																									
計		38			2		5																		
調査員派遣		8		1				6																28,600	
新規																									
継続																									
計		8		1				6																	

||||| 公共・公益事業分野 |||||

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
テレビ放送網整備計画	情報郵便通信 省 ジンバブエ放 送協会	全日本テレビ サービス				89.11 (本)	

ZBC 5 カ年計画フェーズ 1 の一部であるハラレ放送局既設老朽設備の更改に必要な資金の供与計画。

||||| 農林水産分野 |||||

開発調査事業

プロジェクト名	概 要	相手国の調 査団受入先	調査業務 受注企業名
ニャコンバ地方灌漑計画	マニカランド州のニャコンバ地方3000haの農地の再開発及び高度利用を図るため、土地利用計画及び営農計画等を含む、灌漑農業開発計画策定のためのフィージビリティ調査を実施するものであり、1989年度は現地調査を終了し、90年2月にプロGRESSレポート (II) を作成した。	土地・農業・ 農村定住省	太陽コンサル タンツ(株) (株)三祐コンサ ルタンツ

無償資金協力事業 (JICA 担当分)

プロジェクト名	相手国 実施機関	調査業務 受注企業名	供与 年度	金額 (億円)	E/N 署名日	JICA実施業務	
						基本設計・ 資機材等調査	実施促進・ フォローアップ
マシゴ州中規模灌漑計画	エネルギー・ 水資源開発省	三祐コンサル タンツ	89	12.51	89.10.16	89.4 (報)	

マシゴ州の黒人共有区の農業生産性向上を図るために、州内 6 カ所の中規模灌漑用ダム及び灌漑施設を建設するのに必要な資金供与計画。

||||| 鉱工業分野 |||||

開発調査事業

プロジェクト名	概要	相手国の調査団受入先	調査業務受注企業名
ジンバブエ共和国 アンモニア工場建設計画 調査	<p>本件調査は、ジンバブエで産出される石炭を利用したアンモニア及び他の付加価値の高い製品を製造するアンモニア工場の建設に係るフィージビリティ調査である。</p> <p>1989年度は、88年度実施した調査に基づき最終報告書を作成、送付した。</p>	工業省	(株)日本プラント協会
クエン酸工場建設計画	<p>ジンバブエ経済のなかで重要な位置を占める農産物加工部門において、清涼飲料水の添加物として輸入、消費されているクエン酸を国内生産しようとする計画を策定することを目的とするものである。</p> <p>1989年度は、予備調査を実施した。</p>	工業開発公社 (IDC)	
マクドウガル地域資源開発調査	<p>マクドウガル地域において金、ニッケル、銅の鉱床の賦存状況を把握することを目的とする。</p> <p>1989年度は、地質調査・地化学探査 (530km²) を実施した。</p>	鉱山省地質調査局	金属鉱業事業団